

平成 27 年 度

東京藝術大学
大学院音楽研究科(修士課程)
学生募集要項

この要項には、本学所定の出願書類及び出願用封筒が添付してある。

平成 26 年 7 月

東京藝術大学

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

電話 050 (5525) 2309

27

受験上の注意事項

- (1) 試験実施日時は、出願者数の多寡により多少変更することがある。その場合、平成26年9月11日(木)午後4時以降、試験に関する注意事項と同時に新日程を音楽学部内に掲示及び本学ホームページで発表するので、受験者本人が必ず確認すること。(「XVI入学者選抜試験実施日程表」を参照のこと。)
- (2) 試験に関する諸事項は、掲示及び本学ホームページにより発表するので、常に掲示等に注意すること。なお、掲示等で記載された番号は、本学受験票の受験番号である。
- (3) 実技試験における「試験の順番」は、係員の指示によること。
- (4) 試験当日は、定められた集合時刻を厳守すること。なお、実技試験において、定められた集合時刻に遅れた者には受験を許可しない。(万一やむを得ない事情により遅れた場合は、ただちに係員に申し出ること。)
- (5) 試験当日、受験者(伴奏者を含む)は、試験に関する掲示を確認してから指定された「集合場所及び控室」に入り、以後はすべて係員の指示に従うこと。
- (6) 不正行為があった時は、当該試験を失格とし、以後の受験を認めない。
- (7) 「集合場所及び控室」での発声、または楽器の練習を禁じる。また、「集合場所及び控室」から試験場へ行く途中の廊下等においても同様に禁じる。
- (8) 音出し室、控室にあるピアノの使用を禁じる。ただし、ピアノ研究分野受験者は、係員の指示に従うこと。
- (9) 受験の際は、常に受験票を携帯し、入構の際は、守衛所の係員に提示して入構すること。万一受験票を忘れた場合には、係員に申し出ること。
- (10) 携帯電話及び通信機能を備えた電子機器等の使用を禁止する。もしも持ち込んだ場合は、電源を切ってかばん等に入れておくこと。
- (11) 食事のために学外に出る場合には、正門出入りの際、守衛所の係員に受験票を提示すること。
- (12) 試験に関する電話による問い合わせには、原則応じない。
- (13) 本学に駐車場はない。

目 次

○ 大学院音楽研究科アドミッション・ポリシー	1ページ
I 募集人員	1ページ
II 選抜方法	1ページ
III 出願資格	2ページ
IV 標準修業年限	2ページ
V 出願手続	2ページ
VI 選抜試験場	7ページ
VII 試験科目	7ページ
VIII 試験科目の詳細	9ページ
IX 選抜期日	31ページ
X 最終合格者の発表	31ページ
XI 入学手続等について	31ページ
XII 入学料・授業料の免除・徴収猶予について	32ページ
XIII 奨学金、特待生について	32ページ
XIV 研究室及び指導教員	33ページ
XV 個人情報の取扱いについて	35ページ
XVI 入学者選抜試験実施日程表	折込

入学願書等提出書類添付

検定料振込依頼書添付

○ 大学院音楽研究科アドミッション・ポリシー

大学院音楽研究科は、高度に専門的かつ広範な視野に立ち、音楽についての深遠な学識と技術を授けること、音楽に関わる各分野における創造、表現、研究又は音楽に関する職業等に必要な優れた能力を養うこと、さらには自立して創作、研究活動を行うに必要な高い能力を備えた教育研究者の養成を目的としている。

この教育理念に基づき、本研究科は、音楽に関しての豊富な知見、高度の技術と卓越した研究能力を持ち、なおかつ、幅広い視野や興味・関心、柔軟な感性、独創的な構想力、論理的な思考力、強い意志を持っている人材を求めている。

I 募集人員

専攻	研究分野	募集人員
作曲	作曲	7名
	エクリチュール	
声楽	独唱	20名
	オペラ	
器楽	ピアノ	45名
	オルガン	
	弦楽	
	管打楽	
	室内楽	
指揮	古楽	3名
	指揮	
邦楽	三味線音楽*	9名
	箏曲	
	尺八	
	能楽	
	能楽囃子	
	邦楽囃子	
音楽文化学	日本舞踊	35名
	音楽学	
	音楽教育	
	ソルフェージュ	
	応用音楽学	
	音楽文芸	
合計	音楽音響創造	119名
	芸術環境創造	

〔注意〕

- (1) 志願者は、志願する専攻中の1つの研究分野に限り出願することができる。
(作曲は、作曲・エクリチュールのいずれかを選択する。声楽は、声種1つを選択する。室内楽は、個人・グループのいずれかを選択する。)
- (2)(*) 三味線音楽研究分野には、次の専門種がある。
長唄三味線、常磐津三味線、清元三味線、長唄、常磐津、清元
- (3) 外国人留学生に関しては、次の専攻において、別枠で募集し、募集要項は11月に発行する。
作曲、声楽、器楽（ピアノ・オルガン・弦楽・管打楽・室内楽・古楽）、指揮、邦楽及び音楽文化学（音楽学・音楽教育・応用音楽学・音楽文芸・音楽音響創造・芸術環境創造）。(平成26年7月現在)

II 選抜方法

入学者の選抜は、「専門（実技）試験・語学・基礎学科目（音楽史）・面接・音楽に関する基礎能力検査の各成績及び、出願時提出資料」に基づき総合して判定する。

III 出願資格

本学大学院音楽研究科（修士課程）に出願できる者は、次の各項の1つに該当する者とする。

1. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する日本の大学を卒業した者（平成27年3月卒業見込の者を含む）
2. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定（大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者（平成27年3月までに学士の学位を取得見込の者を含む）
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（平成27年3月までに修了見込の者を含む）
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（平成27年3月までに修了見込の者を含む）
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（平成27年3月までに修了見込の者を含む）
6. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（平成27年3月までに修了見込の者を含む）
7. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
8. 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

※上記出願資格8により出願を希望する者は、事前に出願資格審査を受ける必要があるもので、至急音楽学部教務係に必要書類を請求し、平成26年7月30日(水)午後4時までに提出すること。

※出願資格に不明な点がある場合は事前に音楽学部教務係へ問い合わせること。

IV 標準修業年限 2年

V 出願手続

1. 願書受付期間

志願する専攻の別により、下記の期間の郵便局の消印があるものを受け付ける。

- ・作曲専攻を除く全専攻：平成26年8月8日（金）から平成26年8月14日（木）まで
- ・作曲専攻のみ：平成27年1月5日（月）から平成27年1月9日（金）まで

(注) 入学願書を直接大学に持参したもの、または郵便局の消印が上記期間外のものは、いかなる理由があっても受け付けない。

なお、平成26年8月9日（土）から平成26年8月17日（日）まで本学の夏季休業のため、出願する際に何か不明な点がある場合は、必ず平成26年8月8日（金）までに音楽学部教務係へ問い合わせること。

2. 検 定 料

① 金額：30,000円

国費外国人留学生は納入不要です。ただし、「国費外国人留学生在籍証明書」を在籍する大学から発行してもらい、必ず提出してください。

※入学検定料免除制度について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災において被災した志願者は、入学検定料の免除を受けられる制度があります。免除を希望する志願者は、入学願書提出前に「入学検定料免除申請書」を提出いただくことが必要です。免除の許可または不許可が決定する前に検定料を納入していただく必要はありません。申請時期などの詳細は本学ホームページ (<http://www.geidai.ac.jp/news/2014061619060.html>) でご確認ください。

② 振込期間：

作曲を除く全専攻：平成26年8月8日（金）～平成26年8月14日（木）

作曲専攻：平成27年1月5日（月）～平成27年1月9日（金）

③ 振込方法及び提出書類

下記の(ア)、(イ)、(ウ)のいずれかの方法により振り込んでください。

(ア) コンビニエンスストアでの振込み

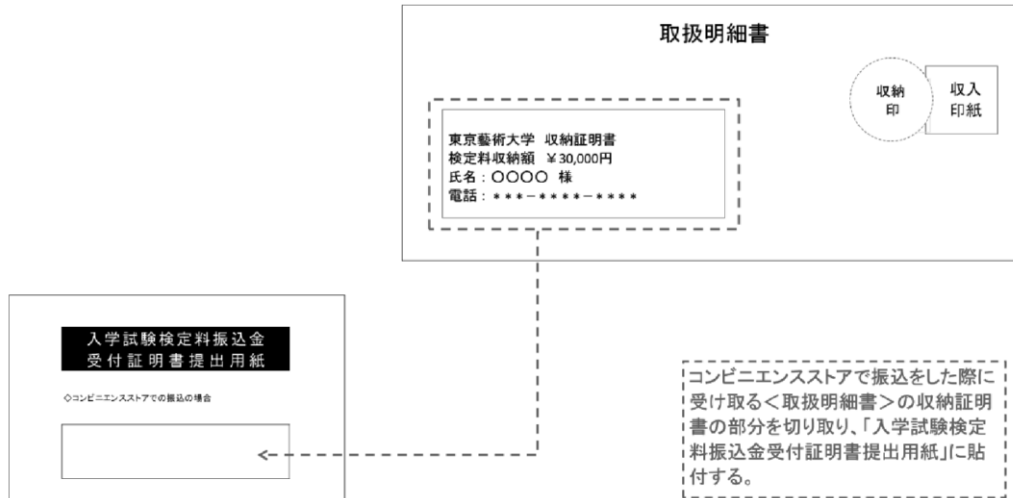
- ・8頁の説明を参照の上、振込手続きを行ってください。
- ・コンビニエンスストアで振り込んだ際に受け取る〈取扱明細書〉の「収納明細書」の部分を取り、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付して提出してください。
- ・振込時に、この要項に添付してある「振込依頼書（A・B・C票）」に記載されている「整理番号」（5桁）の入力が必要になります。
- ・コンビニエンスストア内のATMによる振込は受け付けません。必ず指定の端末にて手続きを行ってください。

(イ) 金融機関窓口でのお振込み

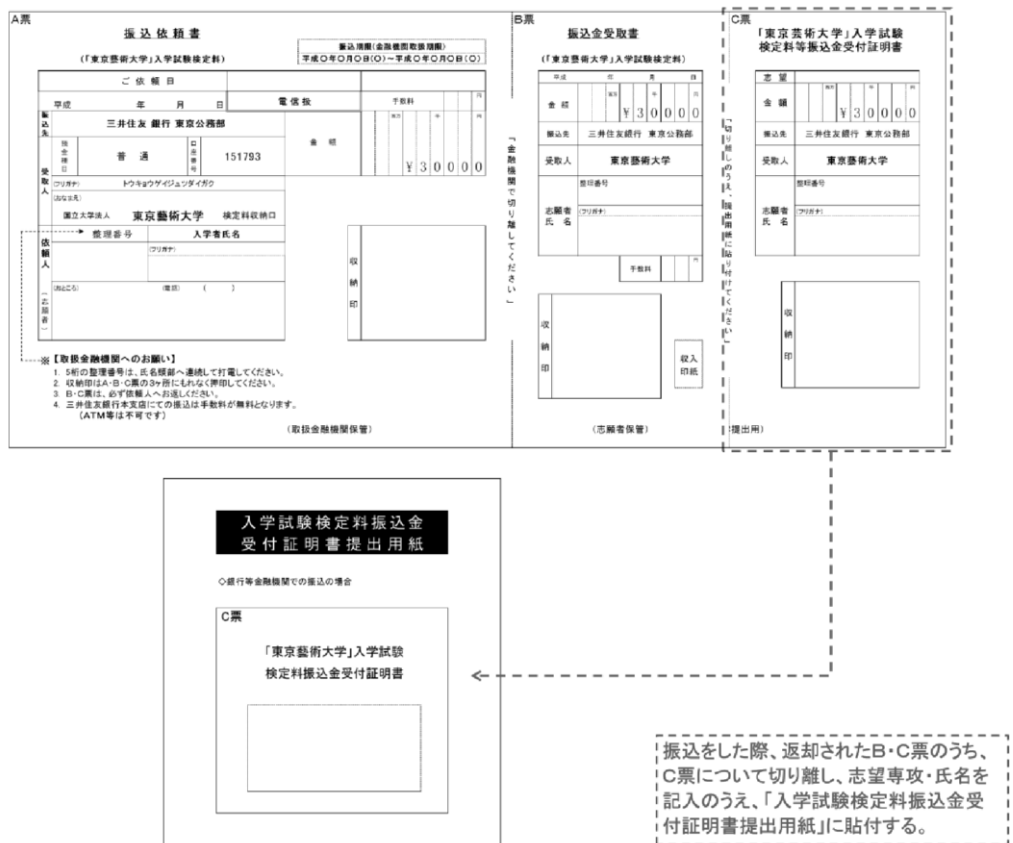
- ・この要項に貼付してある「振込依頼書（A・B・C票）」を使用してください。
- ・取扱金融機関は下記の通りです。
都市銀行・信託銀行・地方銀行・信用金庫・信用組合・農業協同組合・ゆうちょ銀行（郵便局）等（金融公庫では振り込みできません）
- ・ゆうちょ銀行（郵便局）での振込はゆうちょ銀行の口座からのみ可能です。詳しくは振込を依頼する店舗にお問い合わせください。
- ・振込時には別途手数料が必要です。
（三井住友銀行本・支店から振り込む場合は手数料が無料になります）
- ・金融機関ATM（現金自動預け払い機）による振込は受け付けません。
- ・振込後に返却されるB・C票のうち、C票について切り離し、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付して提出してください。

「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」への貼付について

(ア) コンビニエンスストアでの振込の場合



(イ) 金融機関窓口での振込の場合



(ウ) 外国からの検定料送金について

- ・志願者が外国から送金する場合は、下記の要領に従って送金してください。
- ・送金にかかる各種手数料はすべて志願者が支払ってください。
- ・万が一入金額に不足が生じた場合、出願を受理することは出来ませんのでご注意ください。
- ・振り込み後、「外国送金依頼書（送金銀行の受領印またはサイン入り）」の写しを「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付し、他の書類とともに提出してください。

送金種類 (Type of remittance)	電信送金 (Telegraphic transfer)
通貨 (Currency)	日本円 (Japanese Yen)
支払方法 (Method of payment)	通知払 (Advice and pay)
円為替手数料 (Yen exchange charge)	依頼人負担 (Due remitter)
被仕向送金手数料 (Remittance charge)	依頼人負担 (Due remitter)
送金目的 (Purpose of payment)	検定料 (Screening fee)
銀行名 (Paying bank)	三井住友銀行 (Sumitomo Mitsui Banking Corporation)
支店名 (Branch)	東京公務部 (Tokyo Koumubu Branch)
スウィフトコード (SWIFT CODE)	SMBCJPT
銀行住所 (Bank Address)	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-6-12 1-6-12 Toranomom, Minato-ku, Tokyo Japan
受取口座番号 (Account number)	普通預金151793 (A/C 151793)
受取人 (Account name)	国立大学法人 東京芸術大学 検定料収納口 (Tokyo University of the Arts)
住所 (Address)	〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 (12-8 Ueno-park, Taito-ku, Tokyo Japan)
連絡事項 (Message to payee)	・志願者の氏名 (Name of applicant) ・受験研究科, 学科 (Name of the department which you are applying)

④ 返還について

願書を受理した後は、次の(ア)、(イ)の場合を除き、いかなる理由があっても振込済みの検定料は返還しません。

(ア) 検定料を振り込んだが、本学に出願しなかった（願書を提出しなかった、または願書が受理されなかった）場合

(イ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

該当する場合の返還請求の方法は下記の通りです。

便せん等を使用し、下記①～⑦の項目について記入した「検定料返還請求願」を作成し、「収納明細書」又は「C票」を添付して、東京芸術大学会計課経理係（郵便番号110-8714 東京都台東区上野公園12-8）まで郵送してください。

①氏名、②住所、③電話番号、④受験予定の専攻・研究分野、⑤金額、⑥返還請求の理由、⑦振込先の銀行名・支店名・普通口座または当座口座の別・口座名義（カタカナ）・口座番号

※大学から志願者への返還金額は振込手数料を差し引いた額になります。

※返還請求願受領後、返還金の振込まで通常約1ヶ月かかります。

※志願者本人が銀行口座を持っておらず、保護者等の口座に返還を希望する場合は、必ずその旨を書いた委任状を返還請求願と一緒に送付してください。

3. 願書提出先

東京芸術大学音楽学部教務係 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

4. 受験票

願書の受付手続を完了した者に対して受験票を送付する。

(注) 1. 三味線音楽研究分野の長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元は、三味線音楽として通し番号で受験番号をふる。

2. 作曲専攻を除く全専攻 9月5日(金) } までに受験票が到着しない場合は、音楽学部教務係へ連絡の上、書留郵便受領書をもって申し出ること。
作曲専攻のみ 1月23日(金) }

5. 障害のある入学志願者の事前相談

修学上または入学試験の実施上特別な配慮を必要とする入学志願者は、出願前に音楽学部教務係に申し出て、相談のうえ、出願すること。

また、出願締切以後の不慮の事故による負傷者等においても、速やかに音楽学部教務係と相談すること。

6. 提出書類

志願者は、次表①から⑳までの該当する書類を本学所定の封筒を使用し「書留速達」で郵送すること。

書類	様式等	記入要領等
① 入学願書	本学所定の様式	入学願書に記入する氏名は、必ず戸籍と同一文字でなければならない。その他の提出書類についても同様である。
② 履歴書	〃	音楽学習履歴欄の記入において、大学での授業等に含まれる発表会等を省略してもよい。
③ 写真票	〃	写真は、明らかに志願者本人であることが認められる脱帽、上半身、正面向きで出願前3か月以内に撮影したものを写真票の所定の欄に貼ること。(スナップ写真不可)
④ 受験票 〔裏面：返信用郵便はがき〕	〃	受験票裏面は、「返信用郵便はがき」である。受験者自身が、自己の住所・氏名・郵便番号を明記し、52円切手(速達の場合は332円切手)を貼ること。なお、遠隔地の場合は、速達扱いにしておくことが望ましい。
⑤ 入学試験検定料 振込金受付証明書 提出用紙<修士用>	〃	検定料30,000円をコンビニエンスストア又は銀行振込により納入したのち、振込先から受領する「収納証明書」又は「入学試験検定料振込金受付証明書(C票)」を本紙に貼付すること。
⑥ 入学手続書類 送付用宛名 ラベルシール	〃	最終合格者への書類送付時に使用するラベル。必ず志願者本人に書類が届く宛先(日本国内に限る。海外在住者は、日本国内の代理人を指定すること。)を記入すること。
⑦～⑰ 受験曲目紙	〃	提出者は以下の通り。 ⑦～⑮…声楽専攻、ピアノ・オルガン・管打楽・指揮・古楽・室内楽・尺八・能楽囃子・ソルフェージュ各研究分野志願者。 ⑯…音楽教育及びソルフェージュ研究分野志願者のうち『楽器等の実技試験』または『音楽学の筆記試験』を「ピアノ」で受験する者。 ⑰…音楽学及び音楽教育研究分野志願者のうち『音楽に関する基礎能力検査「ピアノ』』を受験する者。
⑱ 邦楽専攻 音楽に関する基礎 能力検査科目 提出用紙	〃	提出は、邦楽囃子、日本舞踊、尺八、能楽、能楽囃子各研究分野志願者のうち他大学出身者。(邦楽囃子研究分野志願者は楽器種も記入すること。)
⑲ 研究計画書(1) 〔応用音楽学 音楽音響創造 芸術環境創造 志願者用〕	〃	提出は、応用音楽学、音楽音響創造、芸術環境創造各研究分野志願者。入学した後の研究計画を1200～1600字で具体的に書くこと。
⑳ 志望理由書(1) 〔応用音楽学 志願者用〕	〃	提出は、応用音楽学研究分野志願者のみ。主な研究対象とするテーマを選んだ理由、その分野に関する自分の具体的な問題意識、これまでに身につけた知識や経験について1200～1600字で書くこと。
㉑ 研究計画書(2) 〔音楽文芸 志願者用〕	〃	提出は、音楽文芸研究分野志願者のみ。1.志望理由、2.研究計画を各々800字以内で書くこと。
㉒ 志望理由書(2)	〃	提出は、オルガン・ソルフェージュ各研究分野志願者、邦楽専攻志願者(400字以内)。
㉓ 成績証明書	様式随意	出身大学長または学部長が証明したもの。(本学卒業生、卒業見込者は不要。) 厳封すること。
㉔ 卒業(又は卒業見込)証明書	〃	出身大学長または学部長が証明したもの。(本学卒業生、卒業見込者は不要。)
㉕ 受験許可書	〃	現に教職その他の公職にある者及び会社等に在職中で、服務義務のある者は、所属長の受験許可書を添付すること。
㉖ 国費外国人留学生在籍証明書	〃	国費外国人留学生は、在籍大学に対し、その身分を証明する書面の発行を依頼し、本学に提出すること。
㉗ 演奏作品集	〃	提出は、古楽研究分野志願者のみ。詳細は18ページを参照すること。

- (注) 1. ①～④までの書類は、一連綴りのまま提出すること。
 2. 願書等受理後は、いかなる事情があっても書類の変更・検定料の払い戻しはしない。
 3. 室内楽研究分野をグループで受験する場合も、必ず個々に出願すること。
 4. 婚姻等により証明書と現在の姓が異なる場合は、戸籍抄本を添付すること。
 5. 証明書が日本語以外で記載されている場合は、日本語訳を添付すること。
 6. 音楽音響創造・芸術環境創造各研究分野志願者は、上記出願書類とは別便で「作品あるいは論考」を提出すること。詳細は、25～26ページを参照すること。

VI 選抜試験場

東京藝術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8

○ J R 線 一上野駅公園口、鶯谷駅下車、徒歩約10分

○ 東京メトロ 一 千代田線根津駅下車、徒歩約15分

銀座線・日比谷線 上野駅下車徒歩15分

○ 京成電鉄 一 京成上野駅下車徒歩15分

VII 試験科目

(「VIII 試験科目の詳細」参照のこと)

専攻	研究分野	試験科目				
		専門試験	語学	基礎学科目 (音楽史)	面接 (注2)	音楽に関する 基礎能力検査 (他大学出身者のみ)
○は要受験・△は一部 要受験・×は受験不要						
作曲	作曲	作品審査及び口述試問	英・独・仏・伊語から1科目	○	×	×
	エクリチュール	作品審査, 実技, 口述試問				
声乐	独唱	1. 声乐実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	×	×
	オペラ	2. 新曲視唱(指定された受験者のみ)				
器楽	ピアノ	専攻楽器の実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	×	×
	オルガン	専攻楽器の実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	△	×
	弦楽	専攻楽器の実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	×	×
	管打楽	専攻楽器の実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	△	×
	室内楽	1. 室内楽の実技 2. 専攻楽器の実技(個人受験者のみ)	英・独・仏・伊語から1科目	○	×	×
	古楽	1. 専攻楽器の実技 2. アンサンブル・通奏低音	英・独・仏・伊語から1科目	○	○	×
指揮	指揮	1. 指揮実技 2. 指揮適性検査 3. ピアノ実技	英・独・仏・伊語から1科目	○	△	×
邦楽	全研究分野	1. 専攻楽器等の実技 2. 口述試問	国語古文	○	△	○
音楽文化学	音楽学	1. 専攻論文 2. 音楽学 3. 口述試問	英・独・仏・伊・露・西語から2科目(ただし日本・東洋音楽史ならびに音楽民族学受験者は1科目のみ)	○ (注3)	×	△
	音楽教育	1. 小論文 2. 口述試問 3. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」(注1) (作曲, 声乐, 器楽, 指揮, 邦楽の各専攻で課されている「楽器等の実技」または「音楽文化学専攻音楽学研究分野において課されている「音楽学の筆記試験」のいずれか一つを選択し受験する。)	左記3.において「楽器等の実技試験」(邦楽以外)を選択した者は、英・独・仏・伊語から1科目を、また邦楽を選択した者は国語古文を受験する。「音楽学の筆記試験」を選択した者は、音楽学研究分野において課されている語学試験を受験する。	○ (注3)	×	○
	ソルフェージュ	1. ソルフェージュ試験 2. 記述試験 3. 口述試問 4. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」(注1) (作曲, 声乐, 器楽, 指揮, 邦楽の各専攻で課されている「楽器等の実技」または「音楽文化学専攻音楽学研究分野において課されている「音楽学の筆記試験」のいずれか一つを選択し受験する。)	左記4.において「楽器等の実技試験」(邦楽以外)を選択した者は、英・独・仏・伊語から1科目を、また邦楽を選択した者は国語古文を受験する。「音楽学の筆記試験」を選択した者は、音楽学研究分野において課されている語学試験を受験する。	○ (注3)	×	△
	応用音楽学	1. 小論文 2. 口述試問	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文から1科目	○ (注3)	×	×
	音楽文芸	1. 専攻論文 2. 小論文 3. 口述試問	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文から2科目	○ (注3)	×	×
	音楽音響創造	1. 聴聴試験 2. 記述試験 3. 口述試問	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文から1科目	○ (注3)	×	×
芸術環境創造	1. 記述試験 2. 口述試問	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文から1科目	○ (注3)	×	×	

(注1) 音楽教育及びソルフェージュ研究分野受験者の「「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」」を、室内楽研究分野で課されている楽器実技で受験することはできない。また、声乐専攻で受験する者は、声乐専攻実技試験第1回のみを受験すること。(なお、9月15日にこれら受験者の合否発表はない。)

(注2) 【面接について】「○」は受験者全員に課する。「△」は「他大学出身者」及び、「本学出身者のうち、学部の特攻と受験する修士課程の特攻が異なる者」にのみ課する。「×」は課さない。

(注3) 作曲専攻及び音楽文化学専攻志願者に課する基礎学科目(音楽史)の出題形態は、他の研究分野志願者と異なるので、詳しくは27ページを参照すること。

※過去2年分の入試問題は、音楽学部教務係で閲覧できる。(音楽学研究分野については、楽理科研究室でも閲覧できる。)

※課せられた科目を1つでも受験しなかった者は、失格(不合格)となる。

東京藝術大学 コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内

お申込みの前に お申込みの際に、振込依頼書に印字されている整理番号(5桁)の入力が必要です。 整理番号メモ (5桁)

下記のコンビニエンスストアの端末にて払い込みができます。

セブン-イレブン マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。

学び・教育
↓
入学検定料等支払

LAWSON Loppi **MINI STOP Loppi**

<http://www.lawson.co.jp> <http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。

「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大・専門、小・中・高校等お支払い

FamilyMart Famiポート

<http://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」へ。

TOP画面の「**申込・請求(学び・教育)**」よりお申込みください。

申込・請求
↓
学び・教育
↓
各種(入学検定料等)お支払いサービス

カルワザステーション

<http://www.circleksunkus.jp>

最寄りの「サークルK・サンクス」にある「カルワザステーション」へ。

TOP画面の「**学び・申込**」よりお申込みください。

「学び・申込」
↓
各種(入学検定料等)のお支払い

お申込みの大学 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票 / 申込券 / 受付票**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

コンビニのレジでお支払いください。

- ※端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi, Famiポート)または「受付票」(カルワザステーション)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**
- ※お支払い後は「取扱明細書」(マルチコピー機、カルワザステーション)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi, Famiポート)を受け取ってください。

*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できませんのでご注意ください。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなりますのでご注意ください。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

※全コンビニ共通

払込手数料	入学検定料が5万円未満	432円
-------	-------------	------

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「**収納証明書**」部分を切り取り、**学生募集要項の指示に従って、所定の欄に貼りつけてください。**

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある欄は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

切り取った「収納証明書」を「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」の所定欄に貼る。

封筒に必要書類を入れて、郵便局から郵送にて出願。

【入試に関するお問合わせ先】 東京藝術大学
 美術学部教務係 TEL 050-5525-2122 / 音楽学部教務係 TEL 050-5525-2309 / 映像研究科教務係 TEL 050-5525-2671
 (受付時間) 月曜～金曜 9:00～12:30 13:30～16:30 ※土曜・日曜・祝日を除く

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <http://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

VIII 試験科目の詳細

1. 専攻実技

専攻	研究分野	課 題 曲 等
作 曲	◎ 作曲専攻共通注意事項（作曲，エクリチュール） 下記に定める作品等を平成27年1月30日（金）正午までに直接又は郵送により音楽学部教務係に提出のこと。ただし，音楽教育又はソルフェージュの志願者で，作曲（エクリチュールは選択不可）により受験する者の提出期限は，平成26年8月18日（月）午後4時までとする。（郵送による場合も上記期限までに教務係に届くように発送のこと）	
	作 曲	[入試課題曲（提出作品）] 管弦楽作品（室内管弦楽を除く）およびそれ以外のジャンル（演奏者1～10名まで，声楽を含むも可）の作品各1曲の楽譜を提出する。
	エクリチュール	1. [入試課題曲（提出作品）] 管弦楽作品（室内管弦楽を除く）1曲の楽譜を提出する。 2. 与えられた主題で4声フーガを作曲する。（6時間） 3. ピアノによる数字付きバス，および旋律の和声付け試験（予見10分） 4. 総譜初見視奏

●作曲専攻の試験日程について

本研究科（修士課程）入学試験において，作曲専攻の試験については，全ての試験を2月に行います。

詳細な日程は募集要項にてご確認ください。

※作曲専攻願書提出期限は平成27年1月5日（月）から平成27年1月9日（金）まで。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
器	ピアノ (Pf)	<p>下記の a) 及び b) の区分より、ピアノ独奏用作品を組み合わせた30分以上のプログラムを2種類提出すること。それぞれのプログラムは必ず a) b) 両方の作品を含むこと。 当日各自の抽選によりいずれか一方のプログラムを演奏する。</p> <p>a) バロックから古典派までの作品。但し、8分以上とする。 b) ロマン派以降の作品（出版されているものに限る。但し、内部奏法等を含んだ作品は除く。）</p> <p>(注) 1) 演奏は暗譜とする。 2) 繰り返しは自由とする。 3) a) b) 共、複数曲でも可。 4) ソナタ・変奏曲の抜粋は認めない。 5) 時間の都合により一部を省略させることがある。</p>
	オルガン (Org)	<p>(A) 課題曲</p> <p>(1) 北ドイツ楽派の大規模な Toccata または Praeludium の中から任意の一曲 (2) J.S.Bach : J.S.Bach : Triosonate BWV526(c), 530(G)の中から任意の一曲（全楽章） (3) 17～18世紀のフランスの作曲家による Tierce en taille または Cromorne en taille (4) F. Liszt : Präludium und Fuge über BACH (5) L.Vierne : 24 Pièces de Fantaisie より Naïades (6) O.Messiaen : Livre du Saint Sacrement より Offirande et Alleluja Final</p> <p>(注) 時間の都合により一部省略することがある。</p> <p>○試験日以前にレジスタータイムを2回与える。</p> <p>(B) 即興実技 数字付低音による課題を初見で実施する。 なお、当日5分間の試奏時間を与える。ただし書き込みはできない。 (次ページに続く)</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器	弦	<p>◎ 弦楽器共通注意事項 (ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・ハープ) ○演奏はすべて暗譜とし、繰り返しは省略する。 ○志願者は、試験当日伴奏者を同伴すること。 ○当日、時間の都合により一部省略させることがある。</p>
		<p>ヴァイオリン (Vn)</p> <p>1. 次の中から任意の1曲(全曲) J.S.Bach : Partita for Violin solo No.1 B minor BWV1002 No.2 D minor BWV1004 No.3 E major BWV1006</p> <p>2. 次の中から任意の1曲の第1楽章 (1) L.v.Beethoven : Concerto D major Op.61 (カデンツァは自由) (2) J.Brahms : Concerto D major Op.77 (カデンツァは自由) (3) F.Mendelssohn : Concerto E minor Op.64</p>
		<p>ヴィオラ (Va)</p> <p>1. J.S.Bach : Solo Suite No.5 C minor BWV1011 (全曲) 2. 次の中から任意の1曲 (1) B.Bartók : Concerto (第1楽章) (最後のカデンツァを含む) (シエルイ版, 改訂版どちらでも可) (2) W.Walton : Concerto (第1楽章, 第2楽章)</p>
		<p>チェロ (Vc)</p> <p>1. J.S.Bach : Solo Suites の中から第4, 5, 6より1曲 (Prélude, Allemande, Courante を演奏すること) 2. 次の中から任意の1曲 (1) J.Haydn : Concerto D major Op.101 (全楽章, カデンツァを含む) (2) A.Dvořák : Concerto B minor (全楽章) (3) R.Schumann : Concerto A minor (全楽章) (4) E.Elgar : Concerto E minor Op.85 (全楽章) (5) D.Shostakovich : Concerto No.1 Op.107 (全楽章)</p>
		<p>コントラバス (Cb)</p> <p>1. Hans Fryba : A Suite in the Olden Style より Prélude Allemande Gigue 2. 次の中から任意の1曲(全楽章) (1) K.D.Dittersdorf : Concerto E major (2) J.B.Vanhal : Concerto D major (3) G.Bottesini : Concerto No.1 F sharp minor (4) G.Bottesini : Concerto No.2 B minor (5) S.Koussevitzky : Concerto F sharp minor</p>
	楽	<p>ハープ (Hp)</p> <p>1. 次の中から任意の1曲 (1) C.P.E.Bach : Sonata F major 又は G major (全楽章, 何版でも可) (2) G.F.Händel : Concerto (全楽章) 2. 次の中から任意の1曲 (1) Fauré : Impromptu (2) Tailleferre : Sonata (全楽章)</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等			
器	管 打 楽	<p>◎ 管打楽器共通注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 志願者でピアノ伴奏を必要とする場合には、試験当日伴奏者を同伴すること。 ○ 受験生同士の譜めくりは禁止する。 ○ 出版社の指定のないものは、何版でもよい。 ○ 演奏箇所は当日指定される箇所を演奏すること。 ○ 特に指定のないものは、全楽章とする。 			
		木	フルート (Fl)	1. 課題曲 下記のa)～d)より任意の1曲を選択し、演奏すること。(カデンツァを含む) a) W.A.Mozart : Konzert G-Dur K.313 b) W.A.Mozart : Konzert D-Dur K.314 c) B.Romberg : Konzert h-moll Op.30 d) C.Reinecke : Konzert D-Dur Op.283 2. 自由曲 任意の無伴奏現代曲を1曲演奏すること。	
		管	オーボエ (Ob)	1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert C-dur K.314より第1, 2楽章 2. 自由選択曲 a)～e)より任意の1曲を選択し、演奏すること。 a) E.Carter : Inner Song (Boosey & Hawkes) b) A.Dorati : Cinq pièces pour le hautbois より第1曲と第5曲 (Boosey & Hawkes) c) H.Holliger : Sonate für Oboe solo より I Präludium と II Capriccio (Schott) d) G.Silverstrini : Six études pour le hautbois より第1曲と第6曲 (Edition du Hautbois) e) I.Yun : Piri oboe solo (Bote & Bock)	
			クラリネット (Cl)	1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert A-Dur K.622より第1, 2楽章 2. 自由曲 (任意による1曲)	
			ファゴット (Fg)	1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert B-Dur K.191 (186e) (カデンツァなし) 2. 自由曲 (任意による1曲)	
			サクソフォーン (Sx)	1. 課題曲 J.Ibert : Concertino da Camera 2. 自由曲 (任意による1曲)	
			ホルン (Hr)	1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert Nr.2 Es-Dur K.417より第1楽章 2. 自由選択曲 a)～c)より任意の1曲を選択し、演奏すること。 a) R.Strauss : Konzert Nr.1 Es-Dur Op.11 b) Hermann Neuling : Bagatelle für tiefes Horn und Klavier c) R.Schumann : Adagio und Allegro Op.70	
			金	トランペット (Tp)	1. 課題曲 H.Tomasi : Concerto 第1楽章 (カデンツァを含む) 2. 自由選択曲 a)～c)より任意の1曲を選択し、演奏すること。 a) J.W.Hertel : Concerto No.3 in D 第1, 2楽章 b) G.Ph.Telemann : Concerto in D 第1曲 (Adagio) と第4曲 (Allegro) c) L.Mozart : Concerto in D 全楽章
			管	トロンボーン (Tb)	テナートロンボーン 1. 課題曲 F.Martin : Ballade (Universal Edition) G.Ch.Wagenseil : Concerto * (Universal Edition) *アルトトロンボーンで演奏すること。カデンツァは自作創作も含め自由。 2. 自由曲なし バストロンボーン 1. 課題曲 T.Albinoni : Sonate en Ré majeur adaptée pour Trombone basse et piano (Gérard Billaudot) 2. 自由曲 (任意による1曲)
				ユーフォニアム (Euph)	1. 課題曲 J.Horowitz : Euphonium Concerto (Novello) 2. 自由曲 (任意による1曲)
				チューバ (Tu)	1. 課題曲 K.Penderecki : Capriccio R.Vaughan Williams : Concerto for Bass Tuba and Orchestra (Oxford University Press) 2. 自由曲なし
				打楽器 (Pc)	1. 課題曲 F.Dupin : Myriades (Alphonse Leduc) 2. 自由曲 (任意による1曲)

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器 室		<p>◎ 室内楽共通注意事項 (弦楽四重奏・ピアノ三重奏・二重奏・木管五重奏)</p> <p>○個人で受験する場合、志願者は当日、共演者を同伴すること。</p> <p>○課題曲は、特別の指定がないものは、全楽章とする。繰り返しは省略する。</p> <p>○当日、時間の都合により一部省略させることがある。</p>
	弦楽四重奏	<p>グループ受験の課題曲は下記の3曲とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 次の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Haydn 全曲, Mozart 全曲, Beethoven : Op.18の1-6 次の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Beethoven : Op.59の1, 2, 3, Op.74, Op.95 次の作曲家の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Ravel, Janáček, Prokofiev, Bartók, Shostakovich <p>(個人での受験は認めない)</p>
	三重奏 ピアノとヴァイオリンとチェロ	<p>グループ受験の課題曲は下記の3曲とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 次のピアノ三重奏曲の中から任意の1曲 Haydn 全曲, Mozart 全曲, Beethoven 全曲 次のピアノ三重奏曲の中から任意の1曲 Faure, Ravel, Shostakovich (第1番, 第2番) 上記の1, 2以外のピアノ三重奏作品から1曲 <p>(個人での受験は認めない)</p>
楽	二重奏 ピアノとヴァイオリン, ヴィオラ, チェロ	<p>I グループで受験する場合 課題曲は、次のA・B・C群の中から各々1曲ずつ選び計3曲を演奏する。</p> <p>① ヴァイオリンとピアノの二重奏</p> <p>A群 Mozart : Sonate für Klavier und Violine B-dur KV454 Sonate für Klavier und Violine A-dur KV526 Beethoven : Sonaten für Klavier und Violine (全10曲) Schubert : Sonate für Klavier und Violine A-dur Op.162 D574</p> <p>B群 Stravinsky : Duo concertante pour violon et piano Prokofiev : Sonate Nr.1 für Violine und Klavier Op.80 Bartók : Violinsonata No.1 Violinsonata No.2 Ravel : Sonate pour violon et piano (3楽章形式) Webern : 4 Stücke für Violine und Klavier Op.7</p> <p>C群 A, B群の作曲家以外のヴァイオリンとピアノのための二重奏作品。</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器 室	二重奏 ピアノとヴァイ オリン、ヴィオ ラ、チェロ	<p>② ヴィオラとピアノの二重奏</p> <p>A群 Hummel : Sonate für Viola und Klavier Es-dur Schubert : Sonate für Klavier und Arpeggione a-moll D821 Ausgabe für Viola Schumann : Marchenbilder Op.113</p> <p>B群 Bowen : Sonate für Viola und Klavier No.1 Op.18 R.Clarke : Sonate für Viola und Klavier Hindemith : Sonate für Viola und Klavier Op.11-4 Hindemith : Sonate für Viola und Klavier, 1939 Shostakovich : Sonate für Viola und Klavier Op.147</p> <p>C群 A, B群の作曲家以外のヴィオラとピアノのための二重奏作品。</p> <p>③ チェロとピアノの二重奏</p> <p>A群 Beethoven : Sonaten für Klavier und Violoncello (全5曲) B群 Shostakovich : Sonate für Violoncello und Klavier d-moll Op.40 Prokofiev : Sonate für Violoncello und Klavier Op.119 Fauré : Sonate pour violoncelle et piano No.1 Op.109 Sonate pour violoncelle et piano No.2 Op.117 Britten : Sonata for cello and piano Op.65 Poulenc : Sonate pour violoncelle et piano</p> <p>C群 A, B群の作曲家以外のチェロとピアノのための二重奏作品。</p>
		<p>II 個人で受験する場合 各楽器とも下記の1.2.3.を演奏する。 1.の課題は暗譜とする。</p> <p>① ピアノ</p> <p>1. 下記a およびbの2曲 a) L.v.Beethoven : Klaviersonate Nr.2 Op.2-2 A-dur, Klaviersonate Nr.7 Op.10-3 D-dur, よりいずれか1曲 (全楽章) b) F.Chopin : Etude Op.10, Op.25から任意の1曲 (但し Op.10-3, 6, Op.25-7を除く)</p> <p>2. 前記のグループ受験課題曲A群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲</p> <p>② ヴァイオリン</p> <p>1. J.S.Bach : Partita BWV1002, 1004, 1006の中から任意の1曲 2. 前記のグループ受験課題曲A群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲</p> <p>③ ヴィオラ</p> <p>1. Reger : 3 Suiten für Viola Op.131d より, 組曲第3番の第1楽章 2. 前記のグループ受験課題曲A群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲</p> <p>④ チェロ</p> <p>1. J.S.Bach : Solo Suiten の中から任意のプレリュード1曲 2. 前記のグループ受験課題曲A群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲</p>
楽	楽	

専攻	研究分野等		課 題 曲 等
器 楽	室 内	<p>二重奏 ピアノとフルート</p>	<p>グループ受験の課題曲は下記の3曲とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Schubert : Introdution und Variationen über ihr Blümlein alle Op.160 D.802 2. Prokofiev : Sonate für Flöte und Klavier Op.94 D-Dur 3. Isang Yun : “Garak” for flute and piano <p>(個人での受験は認めない)</p>
		<p>木管五重奏</p>	<p>グループ受験の課題曲は下記のとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. György Ligeti : Sechs Bagatellen für Bläserquintett (Schott 版) 2. A・B群より各々1曲ずつ演奏すること。 <p>A群</p> <p>Franz Danzi : Bläserquintett B-dur Op.56 Nr.1 Anton Reicha : Bläserquintett Es-dur Op.88 Nr.2 Paul Taffanel : Quintette à vent en sol mineur</p> <p>B群</p> <p>Paul Hindemith : Kleine Kammermusik Op.24 Nr.2 Jacques Ibert : Trois Pièces Brèves Darius Milhaud : La Cheminée du Roi René Jean Françaix : Quintette</p> <p>(個人での受験は認めない)</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器 古	<p>《注意事項》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 試験当日、演奏する楽章や繰り返しについて指示する。また演奏時間の関係で中断させることがあるが、採点には影響しない。 2) 鍵盤楽器以外の受験者は、伴奏者を同伴すること。また、バロック声楽受験者で必要なオブリガート楽器は、チェンバロで代用すること。チェンバロ専攻、バロックオルガン専攻、バロックチェロ専攻の試験に必要なアンサンブル奏者は、本学で用意する。 3) すべて課題曲の演奏順は自由とする。 4) 演奏する作品の楽譜すべてを、必ずA4判で4部コピーし演奏順に重ね、左上1か所をホチキスで留め、出願と共に本学音楽学部教務係宛に提出すること。所定の出願用封筒に用意した楽譜が入りきらない場合、出願書類は所定の封筒にて提出し、当該楽譜のみ「古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて出願と同時に書留速達により郵送すること。 5) ソロ及び伴奏に使用できるチェンバロは、 <ol style="list-style-type: none"> ① a'=415のフレンチタイプ（音域 FF-f^{'''}、8'8"4 ヤング第2調律）と、 ② a'=415のイタリアンタイプ（音域 C-d^{'''}、8'8" ミートーン調律）である。 <p>なお、伴奏のために a'=442のフレンチタイプ（音域 FF-f^{'''}、8'8"4 ヤング第2調律）の使用を希望する場合には、出願書類中の曲目提出用紙の該当箇所にその旨記すこと。</p> <p>フォルテピアノ専攻試験に使用する楽器は、18世紀末のウィーン式モデル（音域 FF-g^{'''}） a'=430である。</p> 6) バロックオルガンの受験生については、下記の点に留意すること。 <ul style="list-style-type: none"> ※ レジスターのためのアシスタントが必要な者は、所定の用紙に記入し、申し出ること。アシスタントは本学が用意する。 ※ 実技試験（ソロ）の行われるオルガンで、レジスタータイム（リハーサル）を2回与える。ディスプレイについては、オルガン科の項（12頁）を参照のこと。 	
	<p>バロック声楽 (BVo)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次の3つのグループから作品を選んで、15分～20分程度のプログラムを構成し演奏する。 [伴奏楽器はチェンバロ（《共通の注意事項》参照）のみとする。基準ピッチの選択は採点に影響しない。] 1) G.Caccini または S.D'India または C.Monteverdi の独唱曲。 2) J.S.Bach のレチタティーヴォ付きアリア、またはアリアのみ。 3) 上記1) 2) 以外の作曲家による1800年までの独唱曲2曲。 (G.F.Handel や W.A.Mozart を含む。オラトリオ、カンタータなどレチタティーヴォとアリアを別の楽章としてカウントするものはそれぞれ1曲と数える)。 <p>[プログラム全体の中に伊・独・仏・英語のうち少なくとも2つの言語の歌詞が含まれているように留意すること。またプログラムの中にレチタティーヴォ（ないしはレチタールカンタンド様式の作品）が1つは含まれていること。]</p> 2. 当日与える通奏低音の課題をチェンバロで実施する。（予見時間5分）
楽	<p>バロック ヴァイオリン (BVn)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次の3つのグループからそれぞれ作品を選んで演奏する。 <ol style="list-style-type: none"> ① J.S.Bach：無伴奏ソナタ&パルティータ BWV1001～1006から2つの楽章 ② 次のイ) またはロ) から1曲 イ) D.Castello, G.B.Fontana, B.Marini または同時代のイタリアの作曲家の作品。 ロ) A.Corelli: Sonate op.5 (1700)の No.1～6のうち1曲（緩徐楽章には自作の装飾をつけること）。 ③ 次のハ) またはニ) またはホ) から1曲 ハ) J.M.Leclair：Quatrième livre de sonates, œuvre 9 (1743) ニ) F.Couperin：Concerts Royaux (1722) ホ) M.Marais: Sonate à la Maresienne 2. 当日与える通奏低音の課題をチェンバロで実施する。（予見時間5分）

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器	古	<p>バロック チェロ (Bvc)</p> <p>1. 次の①～③を演奏する。 ① 当日指定する調で3オクターヴのスケールを演奏する。テンポは自由、1弓6音または8音、短調は和声的短音階とする。最低音のC以外開放弦を用いない指遣いで弾くこと。 2) F.Geminiani: Sonata op.5-1 in A 3) J.S.Bach: Suite a violoncello solo senza basso No.2～4から選択した1つの組曲のPrelude, Courante, Gigue [演奏する曲順, 楽器 (モダン仕様かバロック仕様か), 弓のスタイルは問わないが, ガット弦を使用すること。基準ピッチは原則として自由とするが, ②に関してはa'=415または442とする。②に関してはチェンバロの伴奏を用意すること。②の版はベーレンライター (2000年出版), ブライトコップフ (2000年), 東京書籍 (2009年) のいずれかを使用すること。]</p> <p>2. アンサンブル課題: A.Corelli: Sonata a Violino e Violone o Cimbalò, opera quinta から Sonata IV in F の第1, 第2楽章。 [上記の作品を本学の用意したソロ奏者 (バロックヴァイオリン奏者またはリコーダー奏者) と, 受験生の用意したチェンバロ奏者とともに演奏する。当日に10分程度のリハーサル時間が与えられる。なお, 演奏ピッチ (a'=415または442) については受験生が選択したソロ作品のピッチに準ずる。]</p> <p>3. 当日与える通奏低音の課題をチェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>
		<p>リコーダー (Rec)</p> <p>1. 次の1)～4)の各作品を演奏する。 1) Aurelio Virgiliano: "IL DOLCIMELO"より任意のリチュエルカータ1曲 [ルネサンスまたは初期バロックタイプのリコーダーを使用。管の種類及びピッチ, 移調は自由。] 2) Jacques-Martin Hotteterre: Suite 2 (Œuvre Cinquième 1715) 全楽章 [バロックタイプのトレブルを使用し, ホ短調に移調して演奏。ピッチはa'=415] 3) J.S.Bach: Partita イ短調 BWV1013より Allemande, Corrente [ヴォイス・フルート使用の場合は原調, トレブル使用の場合はハ短調に移調して演奏, ピッチは指定しない] 4) Antonio Vivaldi: 協奏曲 ハ短調 RV441 全楽章 [バロックタイプのトレブルを使用。ピッチはa'=415]</p> <p>2. 当日与える通奏低音の課題をチェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>
		<p>チェンバロ (Cemb)</p> <p>1. 次の1)～4)の各作品を演奏する。 1) G.Frescobaldi と J.P.Sweelinck の作品を組み合わせ (必ず両方の作曲家の作品を含むこと) 10～12分のプログラムを組む。 2) J.S.Bach: Die sechs Englisches Suiten から 組曲第6番 BWV 811 3) L.Couperin: Suite en do majeur から以下の3曲を演奏する (かつこ内は L'Oiseau-Lyre 版の番号)。 Prélude (No.9), Courante (No.16), Sarabande (No.25) 4) C.P.E.Bach: 12 Variations auf die Folie d'Espagne</p> <p>2. 当日与える通奏低音と旋律楽器 (または声楽) のためのアンサンブル作品を演奏する。(予見打ち合わせ時間5分)</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器	古	1. 次の1)～5)の各作品を演奏する。 1) G.Frescobaldi: Capriccio sopra La Bassa Fiamenga (※ Mitteltönigwerk を使用すること) 2) J.P.Sweelinck: Echo Fantasia in d (d3) 3) N.de Grigny: Veni Creator (全5楽章) 4) D.Buxtehude: Toccata in d BuxWV 155 5) J.S.Bachの6つのトリオソナタ BWV 525-530から任意の1曲を選び、その全楽章を演奏する。 2. 当日与える通奏低音と旋律楽器(または声楽)のためのアンサンブル作品をポジティブオルガンにて演奏する。(予見打ち合わせ時間5分)
	楽	1. 次の各作品(計3曲)を演奏する。 1) J.Ch.Bach: Klaviersonate c-moll Op.5-6 2) 次のどちらか任意の1曲 イ) W.A.Mozart: Neun Variationen über die Arie “Lison dormait” von N.Dezède C-dur KV 264 (繰り返しは任意) ロ) W.A.Mozart: Zehn Variationen über “Unser dumme Pöbel meint” aus “Die Pilger von Mekka” von Chr.W.Gluck G-dur KV 455 (繰り返しは任意) 3) 次のどちらか任意の1曲 イ) L.v.Beethoven: Klaviersonate B-dur Op.22 (繰り返しは省略) ロ) L.v.Beethoven: Klaviersonate D-dur Op.28 (繰り返しは省略) 2. チェンバロにて次の作品を演奏する。 F.Couperin: 『クラヴサン奏法 L’Art de toucher le clavecin』から プレリュード第1番 ハ長調 3. 当日与える通奏低音の課題をチェンバロまたはフォルテピアノで実施する。(予見時間5分)

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
指 揮		1. 指揮実技(合奏による) (1) 総譜初見指揮 (2) 課題曲…以下の課題の指揮をする。 C.M.v.Weber: Ouverture zur ‘Der Freischütz’ 当日、部分を指定して指揮をさせる。 2. 指揮適性検査 (1) スコアリーダーディング (2) 聴音 (3) ピアノ以外の器楽実技(自由曲・伴奏なし) (4) 音楽一般に関する試問 3. ピアノ 課題曲…全曲の中から部分を指定して演奏させる。 Ludwig van Beethoven: Sonate für Klavier Nr.17 op.31-2 (“Tempest”)

専攻	研究分野等	課 題 曲 等	
邦	邦楽共通注意事項 ○受験者に対し、試験の際、邦楽全般又はその専門に関する簡単な口述試問を行う。 ○受験者は、志願する部門に応じて下記の課題曲を暗譜で演奏すること。ただし、長唄・常磐津・清元の受験者は、歌詞のみ唄本を用いてもよい。		
	三味線音楽	長唄三味線	「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)
		常磐津三味線	「関の扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)
		清元三味線	「北州」(川口お直作曲)
		長 唄	「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)
		常 磐 津	「関の扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)
		清 元	「北州」(川口お直作曲)
	(注) 長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線の受験者は、各自使用する楽器を持参する。		
	箏	山 田 流	箏・箏歌 「住 吉」(山田検校 作曲) 三絃・歌 「那 須 野」(山田検校 作曲) (注) 箏・三絃は原則として各自持参の楽器を使用する。ただし、本学で用意した箏(テトロン糸)・三絃の使用も可能。なお、出願の際、願書の所定欄に持参・借用の別を記入すること。
		生 田 流	箏 「新 浮 舟」(松浦検校 作曲・八重崎検校 箏手付) 「数え唄変奏曲」(宮城道雄 作曲) 三絃 「笹 の 露」(菊岡検校 作曲) (注) 箏は本学で用意した楽器(テトロン糸)を使用する。三絃は原則として各自持参の楽器を使用するが、本学で用意した楽器を使用することもできる。なお、出願の際、願書の所定欄に三絃の持参・借用の別を記入すること。
尺 八	琴古流による受験者……1. 「真虚霊」 (初世黒沢琴古編曲) 2. 「虚空鈴慕」 (同上) 3. 「秋田菅垣」 (同上) 都山流による受験者……1. 「岩清水」 (流祖中尾都山作曲) 2. 「寒 月」 (同上) 3. 「懐月調」 (同上) ○上記各3曲の中から2曲を選び、演奏する。 ○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。 ○琴古流による受験者は三浦琴童譜、都山流による受験者は都山流尺八楽会公刊譜によること。		
	共通曲……1. 「松 風」 (中能島松聲・山木大賀作曲) 2. 「萩の露」 (幾山検校作曲) ○上記2曲の中から1曲を選び、合奏にて演奏する。 ○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。 ○琴古流による受験者は竹友社発行譜、都山流による受験者は都山流尺八楽会公刊譜を使用すること。 ○共通曲の伴奏者(箏・三絃)については本学にて用意する。 ※出願の際は、所定の用紙(受験曲目提出用紙)に必要事項を記入の上提出すること。		

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
邦 楽	能 楽	観世流または宝生流による受験者…謡曲独吟「花筐クセ」及び 仕舞「花筐クルイ」 ワキ方宝生流による受験者……………謡曲独吟「花筐クルイ」及び 仕舞「春栄」 和泉流による受験者……………小謡独吟「名取川」及び 小舞「海老救川」
	能 楽 囃 子	(イ) 笛……………「楽」または「神楽」 (ロ) 小鼓……………囃子「野宮」〈如何なる車ヨリ〉 (ハ) 大鼓……………囃子「野宮」〈如何なる車ヨリ〉 (ニ) 太鼓……………「楽」または「神楽」 ※出願の際は、所定の用紙（「受験曲目提出用紙」）に必要事項を記入の上提出のこと。
	邦 楽 囃 子	1. 「船弁慶」（二世杵屋勝三郎作曲）（太鼓・大鼓・小鼓）より任意の楽器を選択。 2. 「英執着獅子」（笛）（初世杵屋弥三郎作曲） 3. 各専攻楽器による五線譜初見試奏 注1) 3以外は暗譜で演奏すること。 2) 1, 2の伴奏者（長唄, 三味線）は本学係員が担当する。 3) 受験者は、各自使用する楽器を持参すること。 ※出願の際は、所定の用紙（「受験曲目提出用紙」）に必要事項を記入の上提出のこと。
日 本 舞 踊	1. 男踊り 清元「北州」 2. 女踊り 長唄「京鹿子娘道成寺」 本学の用意したテープで両曲とも全曲を踊る。 注1) 録音テープは、清元はビクター版・清元志寿太夫全集による演奏を、長唄はコロムビア版『日本舞踊吾妻流試験課題曲』より芳村伊十郎による演奏を使用する。 2) 両曲ともに小道具は用いず、扇子及び手拭いをもって代用すること。	

※日本舞踊の使用音源について

指定された音源の入手が困難な場合は、本学音楽学部教務係に連絡してください。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	音 楽 学	<p>1. 専攻論文 試験時間：2時間 各自の専攻テーマについて論じる。</p> <p>2. 音楽学 試験時間：2時間 音楽美学、音楽理論、西洋音楽史、日本・東洋音楽史、音楽民族学の5部門から2部門を選んで受験する。</p> <p>3. 口述試問</p>
	音 楽 教 育	<p>1. 小論文 試験時間：2時間</p> <p>2. 口述試問</p> <p>3. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」 作曲、声楽、器楽、指揮、邦楽の各専攻で課されている「楽器等の実技試験」または、音楽文化学専攻音楽学研究分野において課されている「音楽学の筆記試験」のいずれか一つを選択し受験する。ただし、器楽専攻室内楽研究分野で課されている楽器実技は本試験において選択できない。 なお、声楽により受験する者は、声楽専攻実技試験第1回のみ受験すること。また、ピアノにより受験する者は次の課題曲を演奏すること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●ピアノ受験者の課題曲</p> <p>1) Haydn, Mozart, Beethoven のピアノソナタより任意の曲1曲（全楽章）及び</p> <p>2) Chopin の練習曲 Op.10及び Op.25より任意の曲3曲</p> <p>（注）1）繰り返しは省く。 2）演奏は暗譜とする。 3）演奏の一部分を省略することがある。 4）本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。</p> </div>
	ソルフェージュ	<p>1. ソルフェージュ試験</p> <p>(1) ソルフェージュ実技試験</p> <p>a. ピアノによる聴音書取（単旋律、複旋律、四声体和声）</p> <p>b. 各種音部記号（ト音記号、ヘ音記号、ハ音記号）による初見唱</p> <p>c. 初見奏 『「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」』において選択した楽器による初見奏とする。ただし、声楽専攻受験者は「ト音譜表による初見唱」とし、作曲、指揮、邦楽の各専攻及び音楽学研究分野受験者は「ピアノによる初見奏」とする。</p> <p>d. 和声課題（「楽器等の実技試験」の作曲受験者は免除） バスおよびソプラノ課題による四声体和声。</p> <p>(2) ピアノ実技試験（「楽器等の実技試験」のピアノ受験者は免除） 課題曲：10分前後のピアノ作品を任意に選択し、暗譜で演奏する。一部を指定して演奏させることもある。</p> <p>2. 記述試験 ソルフェージュ専攻分野に関わるテーマを課した小論文 文字数：800字 試験時間：1時間30分</p> <p>3. 口述試問</p> <p>4. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」 作曲、声楽、器楽、指揮、邦楽の各専攻で課されている「楽器等の実技試験」または、音楽文化学専攻音楽学研究分野において課されている「音楽学の筆記試験」のいずれか一つを選択し受験する。ただし、器楽専攻室内楽研究分野で課されている楽器実技は本試験において選択できない。 なお、声楽により受験する者は、声楽専攻実技試験第1回のみ受験すること。また、ピアノにより受験する者は次の課題曲を演奏すること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●ピアノ受験者の課題曲</p> <p>1) Haydn, Mozart, Beethoven のピアノソナタより任意の曲1曲（全楽章）及び</p> <p>2) Chopin の練習曲 Op.10及び Op.25より任意の曲3曲</p> <p>（注）1）繰り返しは省く。 2）演奏は暗譜とする。 3）演奏の一部分を省略することがある。 4）本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。</p> </div>

【予告】

※平成28年度入試より、音楽教育研究分野及びソルフェージュ研究分野の「『楽器等の実技試験』または『音楽学の筆記試験』」において「指揮専攻で課されている『楽器等の実技試験』」を廃止する。同年度より両分野の実技試験では指揮を選択することが出来ないため、注意すること。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	応用音楽学	<p>1. 小論文</p> <p>2. 1次口述試問 1次試問では主に研究計画に即した試問を行う。研究テーマによっては楽器の演奏による自己アピールやパネルを用いたプレゼンテーションなどを認める。各自の判断で楽器やパネルを用意すること。ただし、準備・実演に長時間を要するものは認められない（準備も含めて5分程度である）。</p> <p>試験場にはピアノが置かれている。アンプ等を必要とする電子楽器・電気楽器は原則として認められない。</p> <p>一般的なオーディオ機器（CD、カセット、ビデオ）は用意されている。また、ポータブルコンピューターを持参してのプレゼンテーションは可能だが、機器についてのサポートは一切あたえられないので、すべて自己責任にて用意すること。</p> <p>かならずしも実演を行わなければならないということではない。</p> <p>3. 2次口述試問</p> <p>※願書提出の際「研究計画書」・「志望理由書」を提出しなければならない。</p>
	音楽文芸	<p>1. 専攻論文 試験時間：2時間</p> <p>2. 小論文 試験時間：2時間</p> <p>3. 口述試問 口述試問では、願書と一緒に提出された研究計画書を参考資料として、主に研究計画についての試問を行う。したがって研究計画書には、(1)音楽文芸を志望した理由、これまでの研究・活動歴、現段階で興味を持っているテーマについて、(2)修士課程在籍中の2年間における研究計画、修士論文について現時点で想定し得るテーマ・素材を、各々800字以内で具体的に書いておくこと。</p>

【予告】

※平成28年度大学院入試より、音楽文化学専攻のうち応用音楽学研究分野及び音楽文芸分野については、二段階選抜方式を廃止し、第1次選考を行わない。
また、音楽文化学専攻では試験日程が変更される予定である。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	音楽音響創造	<p>1. 聴試試験</p> <p>(1) 音楽を聴いて、編成や楽譜との相違などを解答する。</p> <p>(2) 2種類の音を聴いて、音の大きさや音色の違いなど音響的な特徴について解答する。</p> <p>(3) 音楽を聴いて感じたことを、設問にそって自由に記述する。</p> <p>2. 記述試験</p> <p>(1) 音楽に関する記述問題（楽典、楽器、人物などについての設問）</p> <p>(2) 音響に関する記述問題（用語、音響学の基本事項についての設問）</p> <p>※試験時間は、「聴試試験」、「記述試験」合わせて3時間とする。</p> <p>3. 口述試問</p> <p>主に、提出された「研究計画書」、「作品または論考」に即した試問を行う。質疑応答を含め1人20分程度で実施する。</p> <p>※ 受験者全員願書提出時に(A)「研究計画書」及び(B)「作品あるいは論考」を提出すること。なお、「研究計画書」は、願書と同封の上提出すること。また「作品あるいは論考」は、願書とは別の封筒を使用し、速達書留郵便により提出すること。送り先は「本学部教務係」とし、封筒表に「音楽音響創造入試『作品（または論考）』在中」と大きく明記すること。提出は、出願期間内に行うものとし、同期間内の消印のあるものを受理する。</p> <p>(A) 「研究計画書」について</p> <p>本学所定の様式を使用し、入学後の研究計画を1200～1600字で具体的に記述すること。</p> <p>(B) 「作品あるいは論考」について</p> <p>下記(1), (2), (3)のいずれかを提出すること。(返却しない)</p> <p>(1) 音楽作品の創作技法を評価の対象として希望する場合</p> <p>自作品2～3点(*)とそれぞれの解説。自作品として提出できるのは、録音物、楽譜、あるいはその両方とする。解説は、1作品につきA4用紙4枚以内、公開された作品の場合は、公開の年月日、場所、演奏者や機材のシステムなどのデータを記入すること。</p> <p>(2) 録音技術を評価の対象として希望する場合</p> <p>既存の曲(オリジナル作品も可)を自ら録音した作品(5～10分程度)1～2点(*)と、それについての解説。(1作品につきA4用紙4枚以内、録音、ミキシングに関する詳しいデータを記入すること)</p> <p>(3) 音楽や音響の研究を評価の対象として希望する場合</p> <p>音楽・音響に関する日本語による論考(本文4000字程度、形式は自由)</p> <p>(*) 音のみの作品の場合はCD-R, DVD-R, Blu-rayで、映像をとまなう場合はDVD-R, Blu-rayで提出する。また、再生にあたって特別な注意を要するときには、それについても解説に記入すること。作品(メディア)と楽譜または解説は、各作品ごとに氏名と題名を書いた封筒に入れること。</p>

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	芸術環境創造	<p>1. 記述試験（試験時間 2 時間） 芸術運営，舞台芸術，文化研究に関する記述試験。（各分野から 2 問ずつ計 6 題出題される設問のうち， 3 問を選択して解答する）</p> <p>2. 口述試問 主に，提出された「研究計画書」，「作品または論考」に即した試問を行う。質疑応答を含め 1 人 20 分程度で実施する。</p> <p>※ 受験者全員願書提出時に(A)「研究計画書」及び(B)「作品あるいは論考」を提出すること。なお，「研究計画書」は，願書と同封の上提出すること。また「作品あるいは論考」は，願書とは別の封筒を使用し，速達書留郵便により提出すること。送り先は「本学部教務係」とし，封筒表に「芸術環境創造入試『作品（または論考）』在中」と大きく明記すること。提出は，出願期間内に行うものとし，同期間内の消印のあるものを受理する。</p> <p>(A) 「研究計画書」について 本学所定の様式を使用し，入学後の研究計画を 1200～1600 字で具体的に記述すること。</p> <p>(B) 「作品あるいは論考」について 下記の(1)，(2)のいずれかを提出する。（返却しない）</p> <p>(1) 研究成果，活動歴を示すもの（400 字以内の概要を含む） 作品（映像，戯曲，批評） 1～2 点，作品の記録（コンサート，展覧会，パフォーマンス，舞台作品の記録など） * 音楽作品は CD-R，DVD-R，Blu-ray で，映像作品は DVD-R，Blu-ray で提出する。 * 戯曲，批評は形式を問わない。</p> <p>(2) これまで研究した芸術環境創造に関する日本語による論考（4000 字程度）</p>

2. 語 学

専 攻	研 究 分 野	試 験 内 容
作曲 声楽 器指	全研究分野	英・独・仏・伊語の中から1科目選択……大学学部卒業程度 ※辞書使用可（電子機器の物は除く） 試験時間：1時間30分
邦 楽	全研究分野	国語古文1科目……大学学部卒業程度 ※辞書使用不可 試験時間：1時間30分
音 楽 文 化 学	音 楽 学	英・独・仏・伊・露・西語の中から2科目選択……大学学部卒業程度 ただし、「日本・東洋音楽史」ならびに「音楽民族学」志願者は、うち1科目のみ選択し、受験する。 ※辞書使用不可 試験時間：3時間（1時間30分×2科目）。ただし1科目の場合1時間30分。
	音 楽 教 育 ソルフェージュ	<ul style="list-style-type: none"> 「楽器等の実技試験」の選択者（邦楽以外） 英・独・仏・伊語から1科目（大学学部卒業程度）を受験する。 ※辞書使用可（電子機器の物は除く）。試験時間：1時間30分 「楽器等の実技試験」の選択者（邦楽） 国語古文1科目（大学学部卒業程度）を受験する。 ※辞書使用不可。試験時間：1時間30分 「音楽学の筆記試験」の選択者 音楽学研究分野において課されている語学試験を受験する。 ※辞書使用不可。 試験時間：3時間（1時間30分×2科目）。ただし、1科目の場合1時間30分。
	応 用 音 楽 学	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文から1科目…大学学部卒業程度 ※辞書使用可（電子機器の物は除く） 試験時間：1時間30分
	音 楽 文 芸	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文から2科目…大学学部卒業程度 ※辞書使用不可 試験時間：3時間（1時間30分×2科目）
	音楽音響創造 芸術環境創造	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文から1科目…大学学部卒業程度 ※辞書使用可（電子機器の物は除く） 試験時間：1時間30分

3. 基礎学科目（音楽史）

研究分野	試 験 内 容
全研究分野 (作曲専攻を 除く)	<p>音楽史について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 声楽を中心とする音楽史（西洋音楽史） 2. 鍵盤楽器を中心とする音楽史（西洋音楽史） 3. 弦楽・管打楽器を中心とする音楽史（西洋音楽史） 4. 日本を含む東洋音楽史 <p>出願時、上記4系列から1系列を選択する。各系列においてそれぞれ3問題ずつ出題するので、受験者は、その中から任意に2問題を選択し解答する。 ただし、音楽文化学専攻受験者は、出願時、上記4系列から1系列を選択する必要はなく、出題される全12問題の中から系列を問わず任意に2問題を選択し解答する。 出題程度は、専門の音楽大学における各科またはコース別音楽史概説の程度を超えないものとする。試験時間：2時間</p>
作曲専攻	<p>音楽史（西洋音楽史、日本を含む東洋音楽史）に関して計6問題を出題するので、受験者は、その中から任意に2問題を選択し解答する。 出願時に系列を選択する必要はない。 出題程度は、専門の音楽大学における各科またはコース別音楽史概説の程度を超えないものとする。試験時間：2時間</p>

4. 面接

研究分野	受験対象者
古楽	受験者全員
オルガン・管打楽・指揮・邦楽(専攻)	(1)他大学出身者 (2)本学出身者のうち、学部の専攻と受験する修士課程の専攻が異なる者
作曲・独唱・オペラ・ピアノ・弦楽・室内楽・音楽学・音楽教育・ソルフェージュ・応用音楽学・音楽文芸・音楽音響創造・芸術環境創造	面接を行わない。

5. 音楽に関する基礎能力検査

①「基礎能力検査」受験対象者及び試験内容

他大学出身者（本学出身者を除く）のうち以下に指定する研究分野等の受験者には、以下の通り「基礎能力検査」を課す。

受験対象者		基礎能力検査科目及び試験内容	
研究分野	楽器名等		
作曲 独唱 オペラ ピアノ オルガン 弦楽 管打楽 室内楽 古楽 指揮		実施しない	
三味線音楽	長唄三味線	「長唄」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「老松」（四代目杵屋六三郎作曲）	
	常磐津三味線	「常磐津」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「将門」（宝田寿助作詞，五世岸沢式佐作曲）	
	清元三味線	「清元」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「北州」（大田蜀山作詞，川口直作曲）	
	長唄	「長唄三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「老松」（四代目杵屋六三郎作曲）	
	常磐津	「常磐津三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「将門」（宝田寿助作詞，五世岸沢式佐作曲）	
	清元	「清元三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「北州」（大田蜀山作詞，川口直作曲）	
箏曲	山田流	口述試問（志望理由及び山田流箏曲の専門知識についての審査）	
	生田流	「箏曲音楽理論」（楽器〈箏・十七絃・三絃〉及びそれらの取扱い，調絃，楽譜，演奏法，唱歌，歌唱法など歴史を除く生田流箏曲全般にわたるものの中から出題される。）	
尺	八	「箏」または「三絃」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） （自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。	
能	楽	「能楽囃子」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） （四拍子より1楽器を演奏する。自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。	
能	楽	囃子	専攻以外の四拍子より1楽器および謡曲を演奏する。（専攻実技試験に引き続き行う。） （自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。
邦	楽	囃子	専攻以外の四拍子より1楽器を演奏する。（専攻実技試験に引き続き行う。） （自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。

(次ページに続く)

受験対象者		基礎能力検査科目及び試験内容
研究分野	楽器名等	
日本舞踊		次の中から1つを選択し受験すること。 1. 長唄三味線：「五郎時致」（十代目杵屋六左衛門作曲） 2. 常磐津三味線：「松島」（河竹黙阿弥作詞，六代目岸沢式佐作曲） 3. 清元三味線：「四君子」（鎌田徳之助作詞，二世清元梅吉作曲） 4. 長唄：「五郎時致」（十代目杵屋六左衛門作曲） 5. 常磐津：「松島」（河竹黙阿弥作詞，六代目岸沢式佐作曲） 6. 清元：「四君子」（鎌田徳之助作詞，二世清元梅吉作曲） 7. 邦楽囃子（四拍子より1楽器を選択）：「五郎時致」（十代目杵屋六左衛門作曲） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。
音楽学	音楽美学 西洋音楽史	ピアノ，聴音，初見唱，楽典
	音楽民族学 日本・東洋音楽史	実施しない
音楽教育	『「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」』において「邦楽」を選択しなかった者	ピアノ（ピアノ専攻を除く），聴音，初見唱，楽典（作曲専攻除く）
	『「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」』において「邦楽」を選択した者	本表，三味線音楽，箏曲，尺八，能楽，能楽囃子，邦楽囃子および日本舞踊各研究分野の項記載の通り実施する。
ソルフェージュ	『「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」』において「邦楽」を選択しなかった者	実施しない
	『「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」』において「邦楽」を選択した者	本表，三味線音楽，箏曲，尺八，能楽，能楽囃子，邦楽囃子および日本舞踊各研究分野の項記載の通り実施する。
応用音楽学		実施しない
音楽文芸		実施しない
音楽音響創造		実施しない
芸術環境創造		実施しない

②基礎能力検査科目「ピアノ・聴音・初見唱・楽典」の試験内容

基礎能力検査科目	試験内容
ピアノ	ハイドン，またはモーツァルトのソナタより1曲を選択し，任意の楽章を演奏する。 （注） 1）繰り返しは除く。 2）楽譜を見ても良い。 3）当日，時間の都合により一部を省略させることがある。 4）本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。
聴音	30ページ例題の程度
初見唱	30ページ例題の程度
楽典	試験時間1時間

基礎能力検査（聴音・初見唱）

例題

●聴音書き取り

1) 単旋律

Two staves of musical notation in 6/8 time, one flat key signature. The first staff contains a single melodic line with various rhythmic values and accidentals. The second staff continues the melody with similar rhythmic patterns and accidentals.

2) 複旋律

Two staves of musical notation in 2/4 time, one sharp key signature. The first staff shows a complex melodic line with triplets and various rhythmic values. The second staff provides a bass line with corresponding rhythmic patterns and accidentals.

3) 四声体和声

Two staves of musical notation in 2/4 time, one sharp key signature. The first staff contains four voices (treble clef) and the second staff contains four voices (bass clef), showing a complex harmonic structure with various chordal textures and accidentals.

●初見唱

Two staves of musical notation in 3/4 time, one flat key signature. The first staff is marked *Moderato* (♩=84) and *mf*, with a triplet of eighth notes. The second staff is marked *f*, *sempre f*, and *p sub.*, with a triplet of eighth notes.

IX 選 抜 期 日

1. 第1期選抜試験(対象:作曲専攻以外のすべての受験者)

平成26年9月12日(金)～9月23日(火・祝)

2. 第2期選抜試験(対象:作曲専攻受験者)

平成27年2月3日(火)～2月10日(火)

(注) 各専攻の選抜試験期日は「XVI入学者選抜試験実施日程表」(折込)に記載されている。

X 最終合格者の発表

1. 第1期選抜試験(対象:作曲専攻以外の全ての受験者)

…平成26年9月26日(金)午後4時以降音楽学部内に掲示及び本学ホームページで発表する。

2. 第2期選抜試験(対象:作曲専攻)

…平成27年2月20日(金)午後2時以降音楽学部内に掲示及び本学ホームページで発表する。

本学ホームページ(<http://www.geidai.ac.jp/admission/schedule-results/music>)でも合格者の受験番号を掲載します。(中間発表においては、掲示された日程等も併せて掲載します。)

入学試験実施日程表に示してある中間及び最終合格者発表の日時のそれぞれ1時間後に掲載する予定です。(中間発表:各発表日午後5時頃,最終発表:作曲専攻…2月20日午後3時頃 作曲以外のすべての専攻…9月26日午後5時頃)

※時間未定となっている中間発表についても、掲示発表1時間後に掲載します。

発表前後はアクセスが集中し、つながりにくい場合があります。その際は、時間をおいて再度アクセスしてください。

(注)1. 電話・電子メール等による合否等の問い合わせには、一切応じない。

2. 合格者には、2月23日(月)(予定)に入学手続き書類を発送するので、出願時に「入学手続き書類送付用宛名ラベルシール」を願書と一緒に必ず提出すること。

※宛名は日本国内に限るため、海外在住者は日本国内の代理人を指定して下さい。

※合格したにもかかわらず入学手続き書類が2月27日(金)までに到着しない場合には、音楽学部教務係に連絡してください。

3. 入学の条件

① 指定期日に所定の入学手続きを完了すること。

② 平成27年3月大学卒業見込で受験し最終合格した者は、大学を卒業していること。

③ 独立行政法人大学評価・学位授与機構に学士の学位を申請している者は、学位が授与されていること。

XI 入学手続等について

1. 手続期間

持参受付:平成27年3月14日(土)及び15日(日)

午前10時から12時,午後2時から5時(14日は午後4時まで)

郵送受付:平成27年3月9日(月)必着

2. 手続場所

東京藝術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8

3. 納入金

入 学 料 282,000円(予定額)(国費外国人留学生は納入不要)

入学手続き終了者が平成27年3月31日までに入学辞退を申し出た場合でも、入学金は返還しない。

* 参考までに、入学者には上記納入金以外に次のような経費が必要となる。

- ・ 学生教育研究災害傷害保険料 1,750円
- ・ 同声会会費(同窓会費) 60,000円(他大学出身者及び本学出身の未納者)
- ・ 音楽教育振興会費 30,000円

(音楽教育振興会:音楽学部の教育研究,学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会)

※授業料について

授業料(前期分) 267,900円(年額535,800円)〔予定額〕

(国費外国人留学生は納入不要)

- (注)
1. 4月中旬に保証人宛に郵送される振込依頼書により、4月末日までに納入すること。
 2. 前期分または年額(前期および後期分)のいずれかにより納入できる。
 3. 在学中に授業料改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用される。

XII 入学料・授業料の免除・徴収猶予について

本学には、入学料・授業料の免除・徴収猶予制度があるので、希望する者は、入学料・授業料の納入前に、下記の申請要件を確認のうえ、所要の手続きを行ってください。

(納入後の各種申請は出来ないので注意してください。なお、入学料免除については申請要件を満たしても免除されるとは限らないこと、及び授業料免除についても申請しても不許可となる場合があることから、入学料・授業料納入の準備は事前に十分に行っておいてください。)

免除・猶予の申請要件は次のとおりです。

1. 入学料免除

- (1) 経済的理由により入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合
- (3) (1)に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

2. 入学料徴収猶予

- (1) 経済的理由により入学料の納付期限までに入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付期限までに納付が困難であると認められる場合
- (3) その他やむを得ない事情があると認められる場合

3. 授業料免除

- (1) 経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる場合

4. 授業料徴収猶予

- (1) 経済的理由により授業料の納付期限までに納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合

なお、上記申請要件に不明の点がある場合は、学生支援課（TEL 050-5525-2069）に照会してください。

XIII 奨学金、特待生について

本学では、入学試験、在学中の実技試験等において特に優れた成績を納めた者に対し、各種の奨学金、特待生制度を設けてこれを表彰し、才能に溢れた意欲ある学生を積極的に支援しています。これらは返済不要の給付型奨学金です。制度の詳細については本学ホームページをご確認ください。

1. 入学試験成績により採用されるもの

宗次徳二特待奨学生 [対象：声楽/初年度給付額：100万円/給付期間：最長2年間]

※宗次徳二特待奨学生を希望する受験生は、入学願書の所定欄にその旨記入してください。

2. 在学時の学業成績等により採用されるもの

クロイツァー賞 [対象：ピアノ/給付額10万円] 中能島賞 [対象：邦楽/給付額5万円]

藝大クラヴィア大賞 [対象：ピアノ/給付額20万円]

武藤舞奨学金 [対象：声楽・音楽音響創造・芸術環境創造/給付額30万円] 他

3. その他の支援制度

上記以外にも、野村学芸財団、よんでん文化振興財団などの民間奨学財団、地方公共団体へ大学から推薦した学生が、毎年、奨学生として採用されています。

XIV 研究室及び指導教員

研 究 室	指 導 教 員		研 究 室	指 導 教 員	
作 曲 第 1	教 授	野 平 一 郎	ピ ア ノ 第 5	准 教 授	○有 森 博
	教 授	○小 鍛 冶 邦 隆		准 教 授	江 口 玲
	教 授	安 良 岡 章 夫	オ ル ガ ン	准 教 授	○廣 江 理 枝
	准 教 授	鈴 木 純 明	弦 楽 第 1 (ヴァイオリン)	教 授	○清 水 高 師
	准教授(兼)	林 達 也		准 教 授	玉 井 菜 採
作 曲 第 2	准 教 授	○林 達 也	弦 楽 第 2 (ヴァイオリン)	准 教 授	漆 原 朝 子
	教 授 (兼)	小 鍛 冶 邦 隆		教 授	○澤 和 樹
声 楽 第 1	教 授 (兼)	○川 上 茂	弦 楽 第 3 (ヴィオラ)	教 授 (兼)	松 原 勝 也
	教 授	勝 部 太		准教授(兼)	野 口 千 代 光
	准 教 授	菅 英 三 子	弦 楽 第 4 { チ エ ロ コ ン ト ラ バ ス ハ ー プ	教 授	○川 崎 和 憲
准 教 授	甲 斐 栄 次 郎	准教授(兼)		市 坪 俊 彦	
声 楽 第 2	教 授	○福 島 明 也	管 楽 第 1 (木 管 楽 器)	教 授	永 島 義 男 ※
	教 授 (兼)	平 松 英 子		教 授	○河 野 文 昭
声 楽 第 3	教 授	寺 谷 千 枝 子	管 楽 第 2 (金 管 楽 器)	准 教 授	中 木 健 二
	教 授	○佐 々 木 典 子		准 教 授	高 木 綾 子
声 楽 第 4	教 授	○永 井 和 子	打 楽 器	教 授	○山 本 正 治
	教 授	吉 田 浩 之		教 授	小 畑 善 昭
	准 教 授	櫻 田 亮	室 内 楽	准 教 授	○栃 本 浩 規
教 授	○川 上 茂	准 教 授		古 賀 慎 治	
声 楽 第 5 (オ ペ ラ)	教 授	平 松 英 子	古 楽	准教授(兼)	日 高 剛
	教 授 (兼)	寺 谷 千 枝 子		教 授	○藤 本 隆 文
	教 授 (兼)	福 島 明 也	指 揮	教 授	○松 原 勝 也
	教 授 (兼)	多 田 羅 迪 夫		准 教 授	市 坪 俊 彦
	教 授 (兼)	佐 々 木 典 子	邦 楽 第 1 (三 味 線 音 楽)	准 教 授	日 高 剛
	教 授 (兼)	永 井 和 子		教 授	野 々 下 由 香 里
	教 授 (兼)	吉 田 浩 之	邦 楽 第 2 (箏 尺 曲)	准 教 授	○大 塚 直 哉
	教 授 (兼)	勝 部 太		教 授	○尾 高 忠 明 ※
	准教授(兼)	菅 英 三 子	邦 楽 第 3 (能 楽 囃 子)	教 授 (兼)	澤 和 樹
	准教授(兼)	櫻 田 亮		教 授 (兼)	迫 昭 嘉
ピ ア ノ 第 1	教 授	○植 田 克 己	邦 楽 第 4 (邦 楽 囃 子 日 本 舞 踊)	准 教 授	○小 島 直 文
	准 教 授	青 柳 晋		准 教 授	味 見 純
ピ ア ノ 第 2	教 授	○角 野 裕	邦 楽 第 1 (三 味 線 音 楽)	准 教 授	味 見 純
	教 授	伊 藤 恵		教 授	○萩 岡 松 韻
ピ ア ノ 第 3	准 教 授	○東 誠 三	邦 楽 第 2 (箏 尺 曲)	准 教 授	吉 川 さ と み
	准 教 授	坂 井 千 春		教 授	関 根 知 孝
ピ ア ノ 第 4	教 授	○渡 邊 健 二	邦 楽 第 3 (能 楽 囃 子)	教 授	○武 田 孝 史
	教 授	迫 昭 嘉		准 教 授	盧 慶 順
				准 教 授	○露 木 雅 弥

研 究 室	指 導 教 員		研 究 室	指 導 教 員		
音楽学 第 1 (体系的音楽学)	准教授	福中冬子	応用音楽学	教授	枝川明敬	
	教授(兼)	○植村幸生		教授	○畑 瞬一郎	
音楽学 第 2 (西洋音楽史)	教授	○土田英三郎		教授(兼)	佐野 靖	
	教授	片山千佳子		教授(兼)	杉本和寛	
	教授	大角欣矢		教授	檜山哲彦	
音楽学 第 3 (日本・東洋音楽史)	教授	○塚原康子		音楽文芸	教授	杉本和寛
	教授	植村幸生	准教授		○大森晋輔	
音楽教育	教授	○佐野 靖	准教授		侘美真理	
	教授	山下薫子	教授(兼)		畑 瞬一郎	
	教授(兼)	塚原康子	音楽音響創造		教授	西岡龍彦
	教授(兼)	杉本和寛			教授	亀川 徹
	准教授(兼)	照屋正樹		准教授	○丸井淳史	
	ソルフェージュ	准教授	テシュネ, ローラン	芸術環境創造	教授	熊倉純子
准教授		○照屋正樹	准教授		○市村作知雄	
教授(兼)		佐野 靖	准教授		毛利嘉孝	

(注)1. ○印は研究室主任教員である。

2. 音楽学研究分野の合格者は、最終合格者発表後に配布される「指導教員希望用紙」を、指定された日までに提出すること。
3. 音楽学研究分野以外の合格者は、最終合格者発表後に配布される「実技担任教員希望用紙」もしくは、「指導教員希望用紙」を指定された日までに提出すること。
4. 声楽専攻合格者のうち、オペラ（声楽第5）講座を希望するものは、「声楽実技担任教員希望用紙」に書かれている希望の有無の欄に「有」と記入すること。提出後の希望の有無の変更は認めない。
5. 入学後、大学側の事情により所属研究室・指導教員が変更された場合には、その変更に従うこと。
6. 氏名欄に※印のある教員は、平成27年3月31日に定年退職の予定である。

XV 個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）により、本学が入学選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

1. 利用目的について

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学選抜に関する調査研究で利用します。

2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- (1) 上記1.(1)~(5)の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- (2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合格及び入学手続き等に関する個人情報（氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限る）を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達する場合
- (3) 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
 - ①音楽教育振興会（音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
 - ②杜の会（美術学部同窓会）
 - ③同声会（音楽学部同窓会）
 - ④東京芸術大学生生活協同組合

(注1) この日程は、出願状況によって変更することがあるので、受験者本人が、
 表中の日程発表日時に来学又は本学ホームページで確認すること。
 (注2) 試験日を間違えた場合は、受験資格を失うので十分注意すること。
 (注3) 合格者発表は、受験番号で行うので、発表日には受験票を必ず持参すること。
 (注4) 日程等掲示を確認する際は、平日は20時まで、土日は17時までに来学すること。

XVI 平成27年度 大学院音楽研究科(修士課程)入学者選抜試験実施日程表

○記載例
 9：30～…試験開始時刻(集合時間は別途発表)

専攻等 日程	作 曲 声 楽	器 楽							指 揮	邦 楽	音 楽 文 化 学						受 験 者 集 合 場 所		
		ピ ア ノ	オルガン	弦 楽	管 楽 器	打 楽 器	室 内 楽	古 楽			音 楽 学	音 楽 教 育	ソルフェージュ	応 用 音 楽 学	音 楽 文 芸	音 楽 音 響 創 造		芸 術 環 境 創 造	
26年9月11日(休)	入学試験実施について日程(集合時刻、試験時刻等)および注意事項を16時以降に学内掲示及び本学ホームページで発表する。(必ず志願者自身が見て確認すること。)*作曲(主専攻)志願者の日程は平成27年2月2日(月)16時以降に発表する。																		
12日(金)	専攻実技第1回 10:00～		試奏日 (レジスター・タイム)					専攻実技 10:00～	BOrg 試奏日 (レジスター・タイム)	専攻実技 10:00～		語学 13:00～14:30 14:35～16:05	語学 13:00～14:30 14:35～16:05 左記各専攻 実技試験(指揮)	記述試験 10:00～11:30	語学 13:00～14:30 14:35～16:05				
13日(土)	専攻実技第1回 10:00～		試奏日 (レジスター・タイム)			専攻実技 10:00～			BOrg 試奏日 (レジスター・タイム)	尺八専攻実技 14:00～ 箏曲山田流専攻実技 13:00～ 箏曲生田流専攻実技 15:00～ 音楽に関する基礎能力検査		音楽学 10:00～12:00 専攻論文 13:00～15:00	左記各専攻実技試験 (声乐・管楽器・邦楽・音楽学)		小論文 10:00～12:00	専攻論文 10:00～12:00 小論文 13:00～15:00	聴聴試験 記述試験 13:00～16:00	記述試験 10:00～12:00	
14日(日)																			
15日(月)祝	第1次合格者発表 日程等掲示 (時間未定)	専攻実技 10:00～	専攻実技 10:00～			専攻実技 10:00～	専攻実技 11:00～		BOrg 専攻実技 10:00～				左記各専攻実技試験 (ピアノ・オルガン・ 管打楽器・古楽)			第1次合格者発表 日程等掲示 (時間未定)			
16日(火)	音楽教育, ソルフェージュの 作品審査・ 口述試問 14:00～	専攻実技 第2回 10:00～	専攻実技 10:00～						専攻実技 (BOrg 通奏 低音含む) 10:00～	能楽・能楽囃子専攻実技 14:00～ 音楽に関する基礎能力検査 箏曲専攻実技(予備日)10:00～			左記各専攻実技試験 (作曲・ピアノ・古楽・邦楽)		口述試問第1回 10:00～		口述試問 10:00～	口述試問 10:00～	
17日(水)		専攻実技 第2回 10:00～	専攻実技 10:00～			専攻実技 9:30～								左記各専攻実技試験 (ピアノ・弦楽)		口述試問第1回 10:00～		口述試問 10:00～	口述試問 10:00～
18日(木)						専攻実技 9:30～				三味線音楽・邦楽囃子専攻実技 10:00～ 日本舞踊 11:00～ 音楽に関する基礎能力検査				左記各専攻実技試験 (弦楽・邦楽)		口述試問第1回 10:00～		口述試問 10:00～	口述試問 10:00～
19日(金)		第2次合格者発表 日程等掲示 16時以降	第 1 次 合 格 者 発 表 日 程 等 掲 示 16 時 以 降									日程等掲示 (合格発表なし) 16時以降		第1次合格者発表 日程等掲示 16時以降		日程等掲示 (合格発表なし) 16時以降			
20日(土)			音 楽 史 10:00～12:00, 語 学 13:00～									音 楽 史 10:00～12:00							
21日(日)																			
22日(月)												音楽に関する基礎能力検査 (他大学出身者のうち指定 された受験者)9:30～				口述試問 14:00～	口述試問 10:00～	口述試問 10:00～	
23日(火)祝												口述試問 10:00～	小論文 口述試問 9:30～	ソルフェージュ試験 口述試問 9:30～	口述試問 第2回 10:00～	口述試問 14:00～	口述試問 10:00～	口述試問 10:00～	
24日(水)																			
25日(木)																			
26日(金)		最 終 合 格 者 発 表 (作 曲 専 攻 を 除 く) 16 時 以 降																	
27年2月2日(月)	日程等掲示 16時以降																		
3日(火)	4声フーガ作曲 (12:00～18:00)																		
4日(水)	音楽史 10:00 語学 13:00																		
10日(火)	作品審査 エクリチュール (和声付け, 総譜初見視奏) 口述試問																		
2月20日(金)	最終合格者発表 14時以降																		

5
|
1
0
9
(大
講
義
室)

東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）

学 生 募 集 要 項

平 成 26 年 7 月 発 行

東 京 藝 術 大 学